

e-エクスプレス/Mail Connect機能詳細

		e-エクスプレス	MailConnect
複数業務の稼働		要別暗号鍵	○
送信	宛先固定送信フォルダによる送信	○	○
	取引先コード指定による送信	○	○
	任意のメールの任意の相手先への送信	○	○
	フォルダ階層のままの送信	○	—
受信	条件による各受信フォルダへの自動振り分け	○	○
送信・受信時	確認メールの担当者への送信	○	○
他のプログラムからの自動起動		○	○
データ受信時、ユーザーAPの自動起動		○	○
サーバー障害時の緊急警報メールの送信		○	○
メールサーバーからの取込み順序:First In First Outの保証		○	○
受信ファイルの 受信フォルダへの 貯蔵方法	①同一ファイル名の場合、別名(2)...で	○	○
	② 〃 後ろにアペンド	○	○
	③ 〃 上書き	○	○
	④添付ファイルをフォルダでラップ	○	○
	⑤受信メール全部をフォルダでラップ	○	○
ログ	送信ログの記録、照会、自動抹消	○	○
	受信ログの記録、照会、自動抹消	○	○
	システムログの記録、照会、自動抹消	○	○
リモートログビューアー		○	○
ACKによる送達確認		○	—
送受信データの バックアップ	送信ファイルの自動バックアップ	○	○
	受信ファイルの自動バックアップ	○	○
	エラーファイルのエラーフォルダへの貯蔵	○	○
受信ファイルの内、登録アドレス外データの排除		○	○

		e-エクスプレス	MailConnect	
送信コマンド (ボタン押下または プログラムから実行可)	送信 (One Shot)	○	○	
	常駐型 (Interval)	○	○	
	タイマー起動型	○	○	
	マニュアル送信	○	○	
受信コマンド (ボタン押下または プログラムから実行可)	受信 (One Shot)	○	○	
	常駐型 (Interval)	○	○	
	タイマー起動型	○	○	
	全データ削除後データ取り込み	○	○	
リアルブッシュ機能	送信	○	○	
	受信 (IMAP4機能使用)	○	○	
暗号化と復号化 (S/MIME)		○	—	
大容量ファイルの分割送受信		○	—	
送受信データの圧縮・伸張		○	—	
エクスポート と インポート	環境設定ファイル	○	○	
	アドレスブック	○	○	
	システムログ	○	○	
	送信ログ	○	○	
	受信ログ	○	○	
送信時認証	POP before SMTP	○	○	
	SMTP認証	PLAIN	○	○
		LOGIN	○	○
		CRAM-MD5	○	○
		DIGEST-MD5	○	○
受信時認証	APOP	○	○	

e-エクスプレス/Mail Connect 稼働環境

OS : Windows Vista / XP / 2003 Server / 2000 Pro / 2000 Server
 接続メールサーバー : SMTP, POP3, IMAP4, をサポートする各種サーバー

※OpenTalkは、株式会社グローバル・ネットワークの登録商標です。

※Windows 2000/XP、Windows 2000 Serverは、米国Microsoft Corp.の登録商標です。その他、記載の社名および商品名は、各社の商号または登録商標です。

その他の取扱製品

OpenTalk for Windows3270エミュレータ
 OpenTalk for WindowsTSE3270エミュレータ

【販売代理店】

【総発売元】

株式会社グローバル・ネットワーク

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7 ルネ御苑プラザ2F
 TEL:03-3350-5055 FAX:03-3350-5065

www.global.co.jp

info@global.co.jp

【開発元】

日本ソフトウェアエンジニアリング株式会社

〒112-0002 東京都文京区小石川1-21-14小石川吉田ビル
 TEL:03(5800)2240(代) FAX:03(5800)2250

www.nse-tokyo.co.jp

e-エクスプレスシリーズ ソフトウェア

暗号化File転送ミドルソフト
e-エクスプレス

メールハンドリング自動化ソフト
Mail Connect

既存のメール環境で、B2Bの効率と信頼性を大幅に向上。

得意先／仕入先との受発注業務や
図面・画像のやり取りなどに不可欠のEDIを、
よりシンプルで使いやすく、高信頼に、しかも低コストに、
e-エクスプレスシリーズ ソフトウェアが革新します。

■公開鍵方式による極めて安全な暗号化

e-エクスプレスは、e-Japanでも採用されている公開鍵方式による極めて安全な暗号化を行なって送信されますので、インターネット環境でも安心してご利用いただけます。

■イニシャルコストが安価

既存のメール環境下で稼働可能なため、クライアントソフト購入だけの投資で安価に導入できます。

■優れた完成度と堅牢性

2000年4月の発売開始以来幾多の機能追加を実施。
多くの大手企業・基幹システムでの使用実績が信頼性を物語ります。
既に、250社3000サイト(2004年3月末現在)で稼働中です。

■あらゆるファイルに対応

メール添付ファイル方式を採用しているため、テキスト、EXCEL、CSV、PDF、TIFF、をはじめ、あらゆるファイルの送受信が可能です。

■XML-EDIにも整合

次期EDIの標準プロトコルといわれているXMLも、メール方式であれば添付でき、将来的にも安心です。

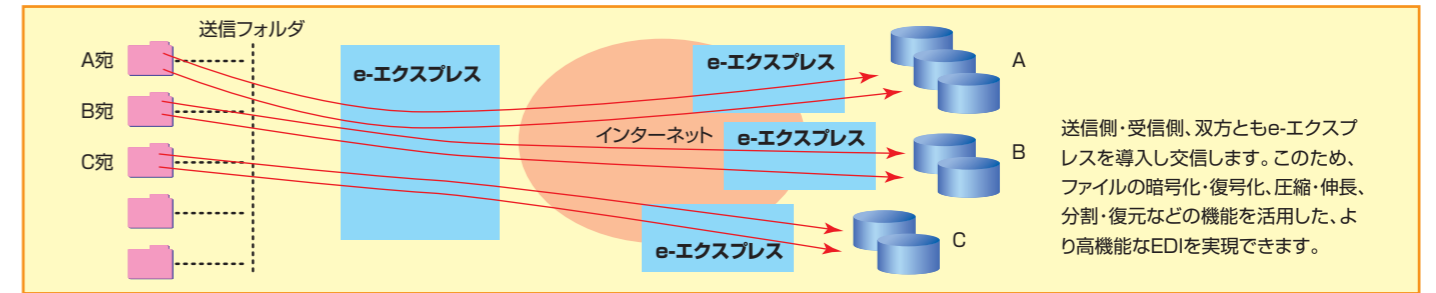
■業務システムとの連携が容易

基幹系アプリケーション・プログラムとe-エクスプレス/Mail Connect間で、相互の自動実行や送受信ファイルの受け渡しが可能です。

■中小規模企業のEDI参加を促進

メール方式のため、パソコンがあればどんな企業でもEDI参加可能。
しかもFAXと同程度のコストと使いやすさです。

■厳重なセキュリティや、大容量のファイル交換をお望みなら。 暗号化File転送ミドルソフト e-エクスプレス



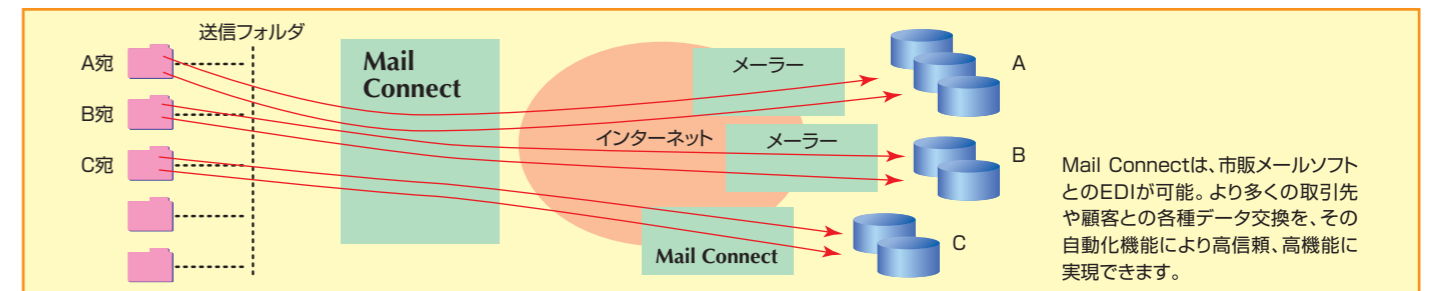
最新のセキュア技術により、高次元の安全性を確保します。

e-Japanでも採用されている公開鍵暗号方式により、高次元の安全性を確保、これにより1ファイルごとに以下の4セキュア処理を実行しています。
●盗聴からデータを守る(暗号化) ●改ざん防止(電子署名) ●なりすまし防止(本人認証) ●送信者認証(本人認証)

圧縮、分割の機能により、大容量ファイルも高信頼に送受信。

レントゲンや胃カメラなどの医療画像や技術図面・画像など、大容量のファイル交換に最適です。
●大容量ファイルを、指定により500KBまたは1MBに分割。●送受信データは自動で圧縮・伸長、かつ透過(トランスペアレント)伝送。
●ACKによる送達確認も自動実施。

■より広範囲に、手軽にEDI実現をお望みなら。 メールハンドリング自動化ソフト Mail Connect



自動運転や業務アプリ連携など、多彩な機能で毎日のビジネスを支援。

送信データが作成されると同時に自動的に送信、受信した際は業務アプリに受け渡し自動実行といった、ファイル交換時の作業の自動化が可能。人為的なミスが防げ、基幹系でも安心してご利用いただけます。

e-エクスプレス/Mail Connectの主な用途

- 得意先・仕入先との受発注
- 海外とのデータ交換(日本語・英語両版サポート)
- 店舗と本社など社内集配システム
- 技術図面・画像など大容量ファイルの送受信
- レントゲン・胃カメラ写真など医療画像ファイルの送受信
- 物流オンラインシステム
- コンピュータセンターにおけるシステム間接続(EAI)
- VANサービス
- 銀行よりの振込み通知システム
- SCM(サプライチェーンマネージメント)の情報インフラに
- 各種警報メールの携帯電話やPCへの送信
- メールハンドリング自動化ツールとして
- 空メールシステム作成ツールとして
- メール自動受信&振り分けによるCRMシステムとして